

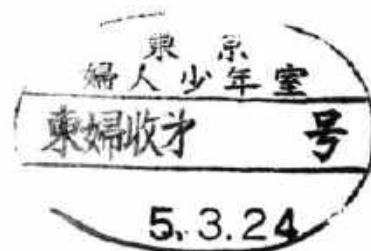
8-18

婦人局業務参考資料 NO. 32

平成3年度

働く婦人の家事業概況

労働省婦人局





概 況

近年、女子の職場進出は大幅に増加した。「労働力調査」によると、平成3年の女子雇用者数は1,918万人となり、全雇用者に占める割合も38.3%と4割近くに達している。

また、女子の職場進出は量的な変化だけでなく、質的な変化も大きいものがある。

一つは、女子の働き方が多様になり、若年未婚時を中心とする働き方から、出産・育児期は一旦職業を中断するが子育て後再就職するというパターンにウエイトが移ってきている。また、出産・育児期も職業を継続する者が徐々に増加している。

二つには、就業形態が、正社員、フルタイマーに加え、パートタイマー派遣労働者あるいは在宅就業として働くというように多様化している。

一方、女子を取り巻く経済社会の動向を見ると、不況により労働力需給が緩和されてきてはいるものの、中長期的な労働力需給の展望においては、若年労働力の減少が見込まれる中、構造的な労働力不足時代が到来することが予測されている。このような状況の下、我が国経済社会を支える働き手として女子に対する期待がこれまで以上に高まっており、女子が働きやすい職場環境の整備に対する関心がかつてないほど強まっている。

このような状況を踏まえて、国の婦人行政は、第1に雇用における男女の均等な機会と待遇の確保対策（男女雇用機会均等法の施行）、第2に育児休業法の円滑な施行及び介護休業制度の普及促進を中心とした女子労働者の職業生活と家庭生活の両立を容易にする就業環境の整備を図るための対策、第3にパートタイム労働対策、そして第4に女子の再就職のための就業援助対策の4点を重点としている。

このように、女子労働者をめぐる状況や行政が年々拡大・充実しつつある中で、働く婦人の家もその一翼を担う存在として果たすべき役割が大きく変わろうとしている。

昭和28年の創設以来、働く婦人の家は、地域のニーズにあわせて、年々増設され、平成3年度には227館を数えるに至っている。この40年

近くの間、働く婦人の家は地域における女子労働者の総合的福祉施設として中核的な役割を果たしてきた。

女子が職業を持つことが当たり前のことになりつつある現在、働く婦人の家において、従来の女子労働者の教養の向上やレクリエーションの事業に加え、子育てが終わり再就職を希望する女子への援助、高齢化社会に対応した介護講習の実施等女子の働き方の多様化に伴って、幅広い役割を果たしていくことが期待されており、そのため働く婦人の家の存在意義は更に高まってきている。

1 働く婦人の家の利用状況

働く婦人の家の利用者の推移をみると、設置数の増加によりここ数年は微増が続いていたものの、平成3年度には548万人となり、前年度（551万人）に比べ3万人（0.4%）減少している。また、1館当たりの利用者は、年間24,471人、1日82人で、ここ数年は横ばい状態で推移している。

利用者の内訳をみると、女子労働者は179万人（32.7%）で、全体の3分の1と低い割合となっている。また、年齢階層別にみると、40歳以上の利用者が303万人で半数を上回り、40歳未満の利用者は192万人で、35%にすぎない。

2 働く婦人の家事業実施状況

（1）会合等

講習会、セミナー等の会合等をみると、実施回数は8万1千回で、参加人員は154万人となっている。そのうち共催事業の中には、労働省が働く婦人の家の協力のもとに実施してきた中小企業に働く中堅女子労働者を対象とした「女子在職者講習」、職業生活と家庭生活との調和のための「女子労働者の生活講座」、また、労働省の委託事業として老人介護の分野に再就職を希望する主婦等を対象とした「老人介護講習」が含まれている。

講演会等については、労働省では6月に「男女雇用機会均等月間」、10月に「仕事と育児を考える月間」を設定し、広報啓発活動を集中的に展開しているが、その一環としての行事を婦人少年室と共催して行う働く婦人の家もある。

（2）相談・指導

相談・指導件数についてみると、職業・労働に関するものが1万7千件で半数を超えている。

(3) 託児

託児の件数についてみると、9万9千人で、前年に比べ微増となっている。そのうち幼児の託児は7万8千人（78.2%）、学童のそれは2万2千人（21.8%）となっている。

(4) 自主グループの状況

働く婦人の家が実施する講座や事業の外に、働く婦人の家の利用者等が働く婦人の家において自主的に実施するものがある。それらを実施するグループを自主グループと称しているが、グループ数は7,818グループ、その構成人員は17万4千人となっている。前年度に比べグループ数は261（3.5%）増加している。

そのうち働く婦人の家の指導等によって組織された育成グループの数は4,893、その他のグループの数は2,925となっている。

1館当たりの数は35グループ、777人の構成人員となっている。

3 働く婦人の家の実施事業例

近年の傾向として、雇用・職業に関する事業の増加が目立っている。特に在職女子労働者のキャリア・アップや再就職を希望する主婦向けの再就職準備のための事業が増加している。ワープロ、パソコン、経理事務、販売士、秘書、語学など技能・資格習得講座をはじめ、ビジネス・マナー、中堅女子社員研修、再就職セミナーなど、事業内容が非常に広範囲なものとなっている。

また、高齢化社会に対応して、老人介護講座、福祉ヘルパー養成講座を実施する働く婦人の家も著しく増加している。

女子労働者の健康管理に関する事業としては、一般的な健康管理の講座の他に、ストレス解消法、指圧・マッサージの仕方、更年期の健康管理、漢方をテーマとしたプログラムの増加がみられた。

男の料理教室等男性の家事分担を促すもの、妻と夫の家庭講座等家庭の男女共同参加実現を目指したものも増える傾向にある。

1 働く婦人の家利用状況

(1) 働く婦人の家利用者の推移

年度	計	女子労働者	勤労者家庭 主 婦 等	そ の 他	1 月 当 り 利用人員	1 日 当 り 利用人員	対象 施設
	人	人	人	人	人	人	館
5 5	3,036,091	1,011,812	1,583,344	440,935	253,008 (2,259)	10,120 (90)	112
5 6	3,404,387	1,137,469	1,718,096	548,822	283,699 (2,234)	11,348 (89)	127
5 7	3,807,760	1,330,830	1,899,990	576,940	317,313 (2,204)	12,693 (88)	144
5 8	4,153,315	1,425,070	2,073,221	655,024	346,110 (2,163)	13,844 (84)	160
5 9	4,425,468	1,487,572	2,180,012	757,884	368,789 (2,169)	14,751 (87)	170
6 0	4,859,899	1,596,392	2,391,144	872,363	404,992 (2,225)	16,200 (89)	182
6 1	5,206,471	1,719,667	2,602,622	884,182	433,872 (2,202)	17,355 (88)	197
6 2	5,210,932	1,731,485	2,591,656	887,791	434,244 (2,129)	17,370 (85)	204
6 3	5,335,201	1,776,622	2,662,265	896,314	444,600 (2,138)	17,784 (86)	208
平成 元年	5,359,012	1,827,023	2,673,747	858,242	446,584 (2,097)	17,863 (84)	213
平成 2 年	5,506,073	1,868,218	2,740,344	897,511	458,839 (2,105)	18,354 (84)	219
平成 3 年	5,481,677 (24,471)	1,792,335	2,720,695	968,647	456,806 (2,039)	18,272 (82)	224

注1. () 内は1館当りの利用人数

2. 平成3年4月1日から平成4年3月31日までの利用状況である(以下同様)。

(2) 職業の有無別利用者数

区 分	計	女子労働者	勤労者家庭 主 婦 等	そ の 他
	人	人	人	人
総 数	5,481,677 (100.0%) 100.0%	1,792,335 (32.7%) 100.0%	2,720,695 (49.6%) 100.0%	968,647 (17.7%) 100.0%
個 別 利 用	1,588,938 (100.0%) 29.0%	576,792 (36.3%) 32.2%	813,888 (51.2%) 29.9%	198,258 (12.5%) 20.5%
グループ活動等 による団体利用	2,278,616 (100.0%) 41.6%	765,178 (33.6%) 42.7%	1,321,580 (58.0%) 48.6%	191,858 (8.4%) 19.8%
そ の 他	1,614,123 (100.0%) 29.4%	450,365 (27.9%) 25.1%	585,227 (36.3%) 21.5%	578,531 (35.8%) 59.7%

(注) 224 施設の集計結果である。

(3) 年齢階層別利用者数

区分	計	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50歳以上	不 明
	人	人	人	人	人	人
総数	5,481,677 (100.0%)	765,178 (14.0%)	1,153,993 (21.1%)	1,399,528 (25.5%)	1,628,581 (29.7%)	534,397 (9.7%)

(注) 不明は、未回答分である。

2 働く婦人の家事業実施状況

(1) 事業実施数 イ. 会合等

区 分	回 数		人 員	
	主 催	共 催	主 催	共 催
総 数	81,403回 100.0%		1,541,656人 100.0%	
小 計	70,286 86.3% (100.0%)	11,117 13.7% (100.0%)	1,225,647 80.7% (100.0%)	316,009 19.3% (100.0%)
講 習 会	51,169 (72.8%)	6,781 (61.0%)	701,978 (57.3%)	125,464 (39.7%)
集 会	1,209 (1.7%)	2,143 (19.3%)	52,991 (4.3%)	40,179 (12.7%)
レクリエーション	1,199 (1.7%)	56 (0.5%)	26,355 (2.2%)	7,045 (2.2%)
軽 運 動	8,085 (11.5%)	1,203 (10.8%)	131,706 (10.7%)	25,949 (8.2%)
展 示	340 (0.5%)	100 (0.9%)	75,828 (6.2%)	37,310 (11.8%)
行 事	541 (0.8%)	157 (1.4%)	173,773 (14.2%)	66,580 (21.1%)
そ の 他	7,743 (11.0%)	677 (6.1%)	63,016 (5.1%)	13,482 (4.3%)

ロ. 相談・指導

区 分		件 数
合 計		32,292件 (100.0%)
職 業・ 労 働	就 業	14,330 (44.4%)
	労 働 条 件	756 (2.3%)
	そ の 他	2,311 (7.2%)
育 児 ・ 教 育		1,559 (4.8%)
健 康		5,669 (17.6%)
家 庭 問 題		2,437 (7.5%)
グ ル ー プ 活 動 レ ク リ エ ー シ ョ ン		2,060 (6.4%)
そ の 他		3,170 (9.8%)

ハ. 託 児

区 分	件 数
合 計	99,408人 (100.0%)
幼 児	77,742 (78.2%)
学 童	21,666 (21.8%)

ニ. 自主グループの状況

種 別		グ ル ー プ 数	構 成 人 員
総 数		7,818グループ (100.0%)	174,033人 (100.0%)
内 訳	育 成 グループ	4,893グループ (62.6%)	86,699人 (49.8%)
	そ の 他	2,925グループ (37.4%)	87,334人 (50.2%)
1 館 当 り 数		35グループ	777人

- 注) 1. 育成グループとは、講習、講座の修了者グループ、その他施設の指導によって組織された利用者のグループであって、継続的に施設を利用しているものをいう。
 2. その他とは、1以外のグループで、継続的に施設を利用しているもの等をいう。

4 働く婦人の家実施事業例

(1) 職業に関する事業

技能、資格習得講座	O A機器関係	ワープロ、パソコン、ソフトプログラミング
	事務関係	経理事務、簿記、医療事務、販売事務、税務事務
	専門資格	社会保険労務士、行政書士、宅地建物取引主任者、調理師、販売士、秘書、インテリアコーディネーター
	その他	語学、建築製図、トレース、POP、レタリング、ペン字、コピーライター、ジャーナリスト、カウンセリング、和裁、洋裁、ラッピング
その他の講座	ビジネスマナー、新規学卒研修、中堅女子社員研修、再就職ガイド、キャリアアップ、老人介護講座、福祉ヘルパー養成訓練講座、男女雇用機会均等法、労働基準法、育児休業法、リーダー研修会、ベビーシッター講座、経営講座	
集 会	女子労働問題懇談会、働く女性セミナー、男女雇用機会均等月間講座、再就職セミナー、再就職体験者懇談会、パートタイム労働旬間女性の集い	

(2) 職業生活と家庭生活との調和に関する事業

講習会

育児休業制度普及促進月間講座、老人介護講座、女子労働者の生活講座、母親と育児教室

(テーマ例)

働く母親と子育て、男性の子育て、男女共存社会をめざして、家事について、共働き夫婦の家庭づくり、高齢化社会への対応、シルバー料理、妻と夫の料理、仕事と老人介護

(3) 女子労働者の健康管理に関する事業

(テーマ例)

女子労働者の健康管理、職場のメンタルヘルス、働く女性の心の健康、ストレス解消法、職場や家庭でできる簡単な健康法、食生活の改善、指圧、マッサージの仕方、成人病予防、老後の設計、乳癌自己チェック教室、更年期の健康管理、漢方、薬膳料理

(4) 女子労働者の生活全般に関する事業

(テーマ例)

家庭電気の知識、消費問題、環境問題（洗剤の安全性等）、悪質商法、リサイクル、食品添加物の問題、住いの工夫、資産運用、税金問題、家庭の法律、家庭看護、同和問題、救急介護、福祉ヘルパー、保存食、マイカーの点検・整備、年金問題

(5) 休養及びレクリエーションに関する事業

(実施例)

スポーツ講習・実習等	ヨガ、エアロビクス、アスレチック、リズム体操、太極拳、ジャズダンス、社交ダンス、フォークダンス、卓球、テニス、バドミントン、バレーボール、ゴルフ、ボウリング、ゲートボール、水泳、ジョギング、ストレッチ、スキー、インディアカ、気功術
行事、親睦、野外活動等	働く婦人の家祭、利用者のつどい、女子労働者のつどい、母と子のつどい、他館との交流会、サークル交流会、サークル活動発表会、チャリティーバザール、不要品交換会、新年会、かるた大会ひな祭り、お花見、七夕祭り、盆踊り、お月見、文化祭、クリスマス会、忘年会、地域行事への参加、施設見学、映画鑑賞会、茶会、ハイキング、キャンプ、バスツアー、旅行、登山、ダンスパーティー、コンサート、運動会

趣味、教養等	古典的なもの	茶道、書道、文学、短歌、古典俳句、川柳、百人一首、作文、礼法、詩吟、囲碁、将棋、テーブルマナー、冠婚葬祭、和裁、洋裁、着物着付け、華道
	花手芸等	フラワーアレンジメント、コサージュ、パンフラワー、リボンフラワー、フラワーコーディネート、ポプリ、ハーブ、アートフラワー
	料理	おせち料理、郷土料理、菓子作り、みそ作り、漬物、おもてなし料理、クリスマス料理、パン作り
	音楽・舞踏	電子オルガン、ピアノ、三味線、琴、大正琴、コーラス歌謡民謡、謡曲、カラオケ、舞踏、民踊、郷土芸能、人形劇
	美術・手芸	絵画、陶芸、七宝焼き、木彫り、版画粘土、染色、ちぎり絵、押し絵、切り絵、水墨画、手描き友禅、ステンドグラス、レザークラフト、園芸人形作り、木目込み人形手作りおもちゃ、手作り年賀状、和紙細工、籐あみ、折紙、パッチワーク、手織、袋物、刺子、組紐、ネクタイ作り、編物、刺繍、リフォーム、和紙人形、アニメ彩画
	その他	郷土史、女性史、写真・ビデオ撮影、マジック、広報誌作り、ヘアースタイル、園芸、エッセイ、話し方、郷土の文化

(6) その他女子労働者の福祉を増進するために必要な事業等

イ 女性の意識啓発に関する事業

集会

婦人行政セミナー、婦人週間のつどい、女性の集い、婦人問題学習会、女性学講座、婦人活動研修会、女性問題懇談会、市長を囲んで市政を考える会、女性の地位向上史セミナー

(テーマ例)

女性の地位向上、社会参加の促進、地域との関わりあい方、女性と政治、女性の人権について、男女共同社会の実現をめざして

ロ 福祉に関する事業

(テーマ例)

福祉ヘルパー・ホームヘルパー養成、老人介護、病人看護、手話、身障者に対するマナー、ボランティア、カウンセリング、社会福祉学、給食の作り方、点字、朗読ボランティア、福祉施設訪問

ハ 国際交流に関する事業

(実施例)

国際交流会、国際文化交流フェスティバル、キッチンからの国際交流、日本語教師養成講座、婦人行政セミナー

(7) 相談業務

職業、労働、育児、教育、健康、家庭問題、グループ活動、レクリエーション、婦人問題全般等について随時相談を行っている。

(8) その他

合同1日研修旅行、移動講座（企業内勤労婦人スクール）、企業出張講座、企業訪問、健康診断、図書貸出等



